

STEP 1 1. 条件で表示を切り替える IF (イフ)

1. 表を用意しましょう

A	B	C	D	E
1	IFの練習			
2	名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上
3	沼田 孝太郎	45	56	
4	半田 なぎさ	62	74	
5	藤本 真希	84	61	
6	古田 友香	90	87	
7	森 進	45	62	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

1 ファイル「IFの練習」を開きます。

ファイル「IFの練習」が見つからないときは教室の先生にお尋ねください。

2. IF関数を使って今回の得点の結果を表示しましょう

今回の得点が70点以上の時は「Yes」をそれ以外の時は「No」を表示しましょう。

A	B	C	D	E	F	G	H
1	IFの練習						
2	名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	前回より得点が増えた		
3	沼田 孝太郎	45	56				
4	半田 なぎさ	62	74				
5	藤本 真希	84	61				
6	古田 友香	90	87				
7	森 進	45	62				
8							
9							
10							
11							
12							
13							

1 セル「E3」を選択します。

2 「数式」をクリックします。

3 「論理」をクリックします。

4 「IF」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		IFの練習						
2		名前	前回					
3		沼田 孝太郎			今回の	前回		
4		半田 なぎさ			得点が70以上	得点が増えた		
5		藤本 真希						
6		古田 友香						
7		森 進						
8								

5 論理式に「D3>=70」と入力します。

	A	B	C	D	E	F
1		IFの練習				
2		名前	前回得点	今回得点	今回の 得点が70以上	前回より 得点が増えた
3		沼田 孝太郎	45	56	=IF(D3>=70)	
4		半田 なぎさ	62	74		
5		藤本 真希	84	61		

関数の引数

IF

論理式 = FALSE

値が真の場合 = すべて

値が偽の場合 = すべて

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します。論理式には結果が返されません。

ひょうじ き か じょうけん こんかい とくてん てんいじょう
表示を切り替える条件が「今回の得点が70点以上」
なので論理式はこのようになります。

こんかい とくてん
今回の得点

いじょう あらわ えんざんし
以上を表す演算子

D3 >= 70

関数の引数

IF

論理式 D3>=70 = FALSE

値が真の場合 "Yes" = "Yes"

値が偽の場合 "No" = "No"

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

文字を入力した場合は「」を省略しても自動で「」が入力されます。

6 値が真の場合に「Yes」と入力します。

7 値が偽の場合に「No」と入力します。

8 「OK」をクリックします。

OK キャンセル

E3 : fx =IF(D3>=70,"Yes","No")

A	B	C	D	E	H
1	IFの練習				
2	名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	
3	沼田 孝太郎	45	56	No	
4	半田 なぎさ	62	74		
5	藤本 真希	84	61		
6	古田 友香	90	87		
7	森 進	45	62		
8					
9					
10					
11					
12					

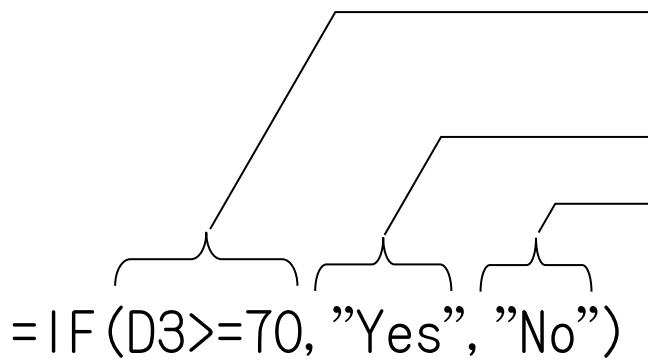
今回の得点が 70 以上ではないので「No」が表示されました。

E3 : fx =IF(D3>=70,"Yes","No")

A	B	C	D	E	F	G	H
1	IFの練習						
2	名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	前回より得点が増えた		
3	沼田 孝太郎	45	56	No			
4	半田 なぎさ	62	74	Yes			
5	藤本 真希	84	61	No			
6	古田 友香	90	87	Yes			
7	森 進	45	62	No			
8				No			
9				No			
10				No			
11							
12							
13							
14							

9 オートフィルで 10行目までコピーします。

解説 IF (イフ) 関数



論理式 (条件式)

セル「D3」が70以上なら

条件が成立するとき Yes を表示する

条件が成立しないとき No を表示する

引数に文字を指定するときは「あ」のように文字列を「"」で囲みます。
何も表示したくないときは、「"」というようにします。

ポイント IF (イフ) 関数

論理式の条件を満たしている場合は「真の場合」、満たしていない場合は「偽の場合」を返します。

IF (論理式、真の場合、偽の場合)

論理式で使用する演算子

演算子	読み	使用例	意味
=	イコール	A = B	AとBが同じ
>	大なり	A > B	AがBより大きい
>=	大なりイコール	A >= B	AがBより大きいか同じ
<	小なり	A < B	AがBより小さい
<=	小なりイコール	A <= B	AがBより小さいか同じ
<>	ノットイコール	A <> B	AとBが同じでない

例 IF(A1=B1, "○", "×")

この場合「A1=B1」が論理式で、A1とB1が同じ場合は「○」が、そうでない場合は「×」がIF関数から返ってきます。

3. IF関数を使って不要な表示を消しましょう

セル E8~E10 の表示は不要なので IF関数を使って表示しないように式を変更しましょう。

	A	B	C	D	E
1		IFの練習			
2		名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上 前回より得点が増えた
3		沼田 孝太郎	45	56	No
4		半田 なぎさ	62	74	Yes
5		藤本 真希	84	61	No
6		古田 友香	90	87	Yes
7		森 進	45	62	No
8					No
9					No
10					No

1 セル「E3」をダブルクリックします。

	A	B	C	D	E
1		IFの練習			
2		名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上 前回より得点が増えた
3		沼田 孝太郎	45	=IF(D3>=70,"Yes","No")	
4		半田 なぎさ	62	74	Yes
5		藤本 真希	84	61	No
6		古田 友香	90	87	Yes
7		森 進	45		

2 「=」と「IF」の間をクリックします。

点	今回得点	得点が70以上	得点
	74	Yes	

=IF(D3>=70,"Yes","No")

IF : \times \checkmark fx =IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))

3 「IF(D3="", "",)」と入力します。

	A	B	C	D	E
1		IFの練習			
2		名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上 前回より得点が増えた
3		沼田 孝太郎	45	=IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))	
4		半田 なぎさ	62		
5		藤本 真希	84		
6		古田 友香	90		
7		森 進	45		

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

「,」を^{わす}れずに^{にゅうりょく}入力しましょう

4 カーソルを一番後ろに移動します。

=IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		IFの練習						
2		名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	前回より得点が増えた		
3		沼田 孝太郎	45					
4		半田 なぎさ	62					
5		藤本 真希	84	61	No			
6		古田 友香	90	87	Yes			
7		森 進	45	62	No			
8					No			
9					No			
10					No			

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

「→」キーを^お押してカーソルを^{いどう}移動させるか、マウスでクリックしましょう。

IF : =IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))

A	B	C	D	E	F	G	H
1	IFの練習						
2	名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	前回より得点が増えた		
3	沼田 孝太郎	45	=IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))				
4	半田 なぎさ	62	74	Yes			
5	藤本 直希	84	61	No			
6	5 「」と入力し、「Enter」キーを押します。			Yes			
7				No			
8				No			
9							
10	<div style="border: 2px solid yellow; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>=IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))</p> <p>となっていることを確認しましょう。 赤い字のところを追加しました。</p> </div>						
11							
12							
13							
14							
15							
16							

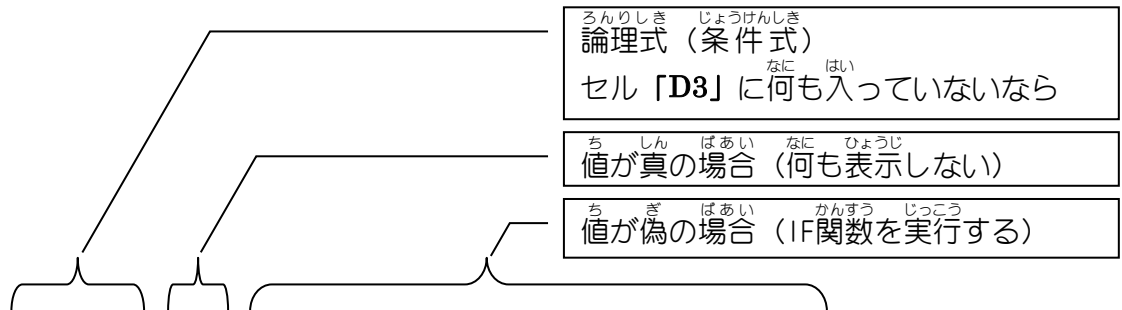
E4 : =IF(D4>=70, "Yes", "No")

A	B	C	D	E	F	G	H
1	IFの練習						
2	名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	前回より得点が増えた		
3	沼田 孝太郎	45	56	No			
4	半田 なぎさ	62	74	Yes			
5	藤本 真希	84	61	No			
6	古田 友香	90	87	Yes			
7	森 進	45	62	No			
8				No			
9				No			
10				No			
11							
12							
13							
14							
15							
16							

6 セル「E3」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		IFの練習						
2		名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	前回より得点が増えた		
3		沼田 孝太郎	45	56	No			
4		7 オートフィルで10行目までコピーします。			Yes			
5					No			
6					Yes			
7		森 進	45	62	No			
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

解説 IF関数で不要な文字を消す



=IF(D3="", "", IF(D3>=70, "Yes", "No"))

「D3=""」はD3には何も入っていないという意味になります。
また、何も表示したくないときは、「''」を入力します。

練習問題

セル「F3」～「F10」に前回の得点より今回の得点が増えた場合はその得点差を表示し、それ以外は何も表示しないように式を入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		IFの練習						
2		名前	前回得点	今回得点	今回の得点が70以上	前回より得点が増えた		
3		沼田 孝太郎	45	56	No	11		
4		半田 なぎさ	62	74	Yes	12		
5		藤本 真希	84	61	No			
6		古田 友香	90	87	Yes			
7		森 進	45	62	No	17		
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								

ヒント

F3 : =IF(C3<D3, D3-C3, "")

4. 万年カレンダーを仕上げましょう

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2023	年							
2			2	月							
3											
4	2023/2/1	2	1	水		2023/2/16	2	16	木		
5	2023/2/2	2	2	木		2023/2/17	2	17	金		
6	2023/2/3	2	3	金		2023/2/18	2	18	土		
7	2023/2/4	2	4	土		2023/2/19	2	19	日		
8	2023/2/5	2	5	日		2023/2/20	2	20	月		
9	2023/2/6	2	6	月		2023/2/21	2	21	火		
10	2023/2/7	2	7	火		2023/2/22	2	22	水		
11	2023/2/8	2	8	水		2023/2/23	2	23	木		
12	2023/2/9	2	9	木		2023/2/24	2	24	金		
13	2023/2/10	2	10	金		2023/2/25	2	25	土		
14	2023/2/11	2	11	土		2023/2/26	2	26	日		
15	2023/2/12	2	12	日		2023/2/27	2	27	月		
16	2023/2/13	2	13	月		2023/2/28	2	28	火		
17	2023/2/14	2	14	火		2023/3/1	3	1	水		
18	2023/2/15	2	15	水		2023/3/2	3	2	木		
19						2023/3/3	3	3	金		
20											

STEP10 で保存した「万年カレンダー」を開きます。

2月のカレンダーをよく見ると、2月28日の次に3月の日付が表示されていますね。途中で日付の月が変わった場合、次の月の日付は表示されないように IF (イフ) 関数を使って表示しないようにしましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2023	年							
2			2	月							
3											
4	2023/2/1	2	1	水		2023/2/16	2	16	木		
5	2023/2/2	2	2	木		2023/2/17	2	17	金		
6	2023/2/3	2	3	金		2023/2/18	2	18	土		
7	2023/2/4	2	4	土		2023/2/19	2	19	日		
8	2023/2/5	2	5	日		2023/2/20	2	20	月		
9						2023/2/21	2	21	火		
10						2023/2/22	2	22	水		
11						2023/2/23	2	23	木		
12						2023/2/24	2	24	金		
13						2023/2/25	2	25	土		
14	2023/2/11	2	11	土		2023/2/26	2	26	日		
15	2023/2/12	2	12	日		2023/2/27	2	27	月		
16	2023/2/13	2	13	月		2023/2/28	2	28	火		
17	2023/2/14	2	14	火		2023/3/1	3	1	水		
18	2023/2/15	2	15	水		2023/3/2	3	2	木		
19						2023/3/3	3	3	金		

セル「C2」とセル「G17」を比べて、2つの値が同じ時はセル「H17」を表示し、それ以外は表示しないようにします。